

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

781

健康わかやま 2 1 推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	1	生涯を通じた健康づくりの推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域保健費	
	大事業		地域保健事業	
中事業		健康わかやま 2 1 推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画	健康わかやま 2 1 (第2次)		
事業年度	平成15年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	地域保健課	上中 英人 488-5119
事業実施の根拠法令	健康増進法		関連課			

## 1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	市民が1次予防として、健康的な生活習慣づくりに取り組んでいる状態を目指す	健康わかやま 2 1 推進協議会を年1回(中間評価、最終評価の年度には複数回)開催し、健康づくりに関する基本計画「チャレンジ健康わかやま(健康わかやま 2 1(第二次))」の関連各課等における取組状況の報告や進行状況の確認、活動計画の検討、情報の交換を実施				
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認、中間評価	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認、中間評価	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認、中間評価	
	・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	
		街角歯科健診は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	街角歯科健診は新型コロナウイルス感染症の影響により中止			

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	463	443	463	121	463	121	1,987	0	1,987	0	
伸び率(%)	△85.4%	△85.6%	0%	△72.7%	0%	0%	329.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	17,075	16,511	15,288	11,864	10,162	10,472	9,697	0	9,697	0
	正規職員以外	0	0	0	2,410	2,464	2,464	2,464	0	2,464	0
	小計	17,075	16,511	15,288	14,274	12,626	12,936	12,161	0	12,161	0
国庫支出金	130	130	130	0	130	0	130	0	130	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	333	313	333	121	333	121	1,857	0	1,857	0	
所要人数(人)	正規職員	2.12	2.05	1.92	1.49	1.31	1.35	1.25	0.00	1.25	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.48	0.48	0.48	0.48	0.00	0.48	0.00
主な予算内訳	付属機関委員報酬80千円 業務委託料260千円 食生活改善推進協議会補助金43千円、歯の衛生週間行事運営費補助金65千円等										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
禁煙に関する啓発回数		回	目標値	204	204	204		
			実績値	208	158	138		
			達成度(%)	101.9%	77.4%	67.6%	%	%
健康づくりに取り組んでいる人の割合		%	目標値	65	65	65		
			実績値	62.2	65	61.1		
			達成度(%)	95.6%	100%	94%	%	%
			目標値					
			実績値					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	健康づくりに取り組んでいる人の割合は、ほぼ目標を達成しているが、引き続き事業に取り組む必要があるため現状維持とする。
見直し・改善内容	市としての健康課題・実態把握を行い、各分野での活動の方向性を修正するとともに、市民が主体的に健康増進に取り組むことができるよう、関係機関との協議を重ね連携を図っていく。